

第6回 学期制検討に関する懇談会（小田原市立小・中学校） 会議概要

1 日時 平成31年3月5日（火）15時00分～16時45分

2 場所 小田原市生涯学習センターけやき 2階 大会議室

3 出席者 石塚 等 堀 賢一郎 栗畑寿一朗 遠藤 清子
初瀬川孝夫 八木 規孝 中村 栄江 本多 忠幸
寺内 浩司 上村 勝治
土谷 隆之
<教育委員会>
内田 里美 友部 誠人 飯田 義一 川口 博幸
石井美佐子 鈴木 一彦
<事務局>
高田 秀樹 大須賀 剛

4 配付資料

- ・次第・レジュメ 名簿
- ・第6回学期制検討に関する懇談会 開催要項
- ・第5回学期制検討に関する懇談会（平成31年1月22日） 会議概要
- ・議題「学期制検討に関する懇談会」まとめ
「学期制検討に関する懇談会」まとめ（案）
 - 別添1 小田原市学期制検討に関する懇談会開催要項
 - 別添2 学期制検討に関する懇談会 構成員名簿
 - 第1回（平成30年2月5日）現在のもの
 - 第6回（平成31年3月5日）現在のもの
 - 別添3 実態調査（アンケート調査）まとめ・全11ページ
 - 別添4 たたき台 2020年学習指導要領の完全実施に向けた対応や状況
 - 別添5 たたき台 「2学期制を継続する場合」と「3学期制に戻す場合」
 - 別添6 たたき台 「2学期制を継続する場合」「3学期制に戻す場合」のスケジュール
- ・「学期制検討に関する懇談会」まとめ についての意見・提案

5 傍聴者 なし

6 会議内容

| | |
|------|--|
| 1 開会 | <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の公開について ・資料の確認 ・日程について |
| 2 内容 | |
| | <p>(1) 第5回懇談会の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回懇談会（前回・平成31年1月22日）会議概要 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議概要をもって確認とさせていただく。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問・意見はあるか。→なし |
| | <p>(2) 意見交換「学期制検討に関する懇談会」まとめ</p> |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明してほしい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後教育委員に報告するための資料となる「学期制検討に関する懇談会」まとめ、それに付随する別添資料1から6、本日配付した資料等の記述についてご意見をいただきたい。 ・別添資料5は「2学期制を継続する場合」と「3学期制に戻す場合」の比較について、「通知表（票）や成績提示等に関すること」「授業日数や時数に関すること」「空調設備や給食に関すること」「その他」の視点でまとめたものとなる。 ・別添資料6は基本的には前回の資料と同じであるが、1枚にまとめたものとなる。 ・「学期制検討に関する懇談会」まとめ についての意見・提案は、事前に資料を送付し、昨日までにいただいた意見をまとめたものとなる。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学期制検討に関する懇談会」まとめについては、事前に資料を配付し、ご意見をいただいているが、特に別添5や6について、加除訂正や追記など具体的なご意見をいただきたい。 |
| 上村 | <ul style="list-style-type: none"> ・別添5について、2学期制を継続する場合も3学期制に戻す場合にも冬季休業日数を13日とすることを前提に資料を作成していいものかどうかみなさんからご意見をうかがいたい。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業を1日減らすということになっているが、意見はあるか。 |
| 堀 | <ul style="list-style-type: none"> ・3学期制から2学期制となり給食の日数も増え、10時間から15時間くらい |

| | |
|-----|--|
| | <p>授業時数が増えている。また、2学期制を導入した時点で15時間から20時間ほど授業時数が増えているので、合計すると1週間分は増えていることを考えると、冬季休業を減らす必要はないと考える。もし記載するのであれば、教育委員会の承認を得れば、各校の実態に合わせて学校長の裁量も可能であることを追記してはどうか。</p> |
| 葉畑 | <ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業の日数を減らすことを前提とすると疑問に感じる方もいるが、特に小学校では時数確保が課題となっているため、学校長の裁量も可能であることを盛り込んでおくほうがよい。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会としては、授業日数の確保のたたき台として夏季や冬季休業の日数を減らすという形で提案しているが、現場としての意見はあるか。 |
| 上村 | <ul style="list-style-type: none"> ・最初から13日とすると、1日減らすことが前提で話が進んでしまう恐れがあるので14日とし、最終的に不足する場合には検討することもできるようにしたほうがよい。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・3学期制に戻す場合は夏季休業日数も40日と2日減らしているが、これも42日とするべきか。 |
| 上村 | <ul style="list-style-type: none"> ・この表の意図は2学期制と3学期制を比較することであり、3学期制は明らかに2日分確保しなければならないため、夏季休業を2日減、または夏季休業1日減と冬季休業1日減とするなど、数値として反映することは必要である。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・他に意見はあるか。 |
| 寺内 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業に関連して、夏休みを2日短くし、前期と後期の間に休業日としていれ、秋休みとするのはどうか。実質の授業日数は変わらないが、夏休みを短くした分、秋休みを設定することで、前期通知票を渡してから学校に提出するまでの期間が短いことの改善策にもなる。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・今の意見について事務局から何かあるか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋休みの意見も含めて、長期休業に関する意見について、堀校長から先ほど現行の管理運営規則で現状に応じて各校で対応できるという話もあったが、市内一律で対応すべきか、各校の実情に応じて対応を任せるべきかをうかがいたい。 |
| 葉畑 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の現状としては、学校長が職員と検討し、各校の実態に合わせて対応し |

| | |
|-----|--|
| | <p>ている。</p> |
| 堀 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校の課題の一つが学力向上であるが、6時間の授業を毎日行う状況を作るよりも、5時間の授業でより集中して取り組める環境を作ることが課題解決につながるかと考え、長期休業を削ることも考えているが、職員の気持ちがまだ熟していないため受け入れられない状況にある。将来的にはそのような学校があってもよいと思う。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の立場からはどうか。 |
| 土谷 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の確保のために各学校で努力をして取り組んでいるのに、教育委員会が一律に対応を求めるのはどうか。各学校で取り組んでいる部分を尊重し、また学校間での情報交換もしながら進めてほしい。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・別添5、別添6に限らず、他に意見はあるか。 |
| 初瀬川 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の場合には、学校長の裁量の範囲で学校ごとに独自性をもって行えるのであればよい。現状も2学期制の中で3学期制のよいところをとりいれて実施している。原案が出ているので、これをもとに各学校でできる部分に対応していくことができれば、学校や地域の土壌にあったものができるのではないかと。 |
| 八木 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋休みについて検討するのは、2学期制前提の議論であり、2学期制か3学期制かを検討する場としては相応しくないのではないかと。学校によって休業日の長さが変わるのは、出張などの関係で不具合が起きる。また、時間数に関しては実際に3学期制に戻してみないとわからない部分もある。来年度の年間計画を作成しているが、今年度よりも登校日が4日少ない。今年度の内容が来年度の日数で収まれば、再来年度は登校日数がもとに戻るのでは、日数を変えなくても計画できるのではないかと考えているが、日数については現時点では明言できない。 |
| 中村 | <ul style="list-style-type: none"> ・登校日が4日減るので、1日6時間として24時間分を、どこに何コマ入れるかで頭を悩ませている。3学期制になればさらに厳しい状況になることは分かっている。学校長の裁量で各校の現状に合わせて柔軟に対応できるということなので、これからどうしていくべきかを考える。 |
| 本多 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業の日数を減らすことについて、普通教室にはエアコンが入るが、特別教室にもエアコン設置の前提があれば考えられるが、そうでなければ難しい。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業に限らず、保護者の立場から全体的に何か意見はあるか。 |

| | |
|-----|--|
| 土谷 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月末に現状報告とアンケート結果の報告をしたと思うが、最終的な決定についてはいつどのような形で行われるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のまとめの資料が基礎資料となり、教育委員に報告する。その後夏ごろまでの議決を考えている。 |
| 初瀬川 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 3学期制に変えるとなると、変えることのハード面・ソフト面の影響が大きい。中学校の場合、3学期制のよさや利便性を取り入れて運用しているが、3学期制に変えるとなると、例えば校務支援システムの変更などのハード面や予算面、3学期制を知らない子供たちの負担などのソフト面など、資料には見えない負担が相当ある。 |
| 石塚 | <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ資料について、別添資料もあり、これまでの懇談会の流れがきれいにまとめられている。 ・ この懇談会が最終決定ではなく、これまでの議論をまとめとして教育委員会定例会に諮っていく。これまで議論し意見してきたことはまとめの中に反映させていくことが必要である。 ・ 別添4・5についてはシミュレーションであり、教育の専門家ではない教育委員に理解してもらうには具体的な時数等を示すこのような資料が不可欠となる。 ・ 学校の先生方が子どもたちと向き合う時間を確保するためには、できるだけ他の部分で教職員の負担が増えることのないように検討することが必要である。 |
| 堀 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回が最終回ということで、陳情趣旨をもう一度読み返したが、陳情者自身の経験のみで書かれていることや学校が様々な取り組みをしているという現状をよく知らないことが読み取れた。 ・ 導入時は15時間から20時間授業時数を増やした。また給食日数を増やし、10時間から15時間授業時数を増やした。年間で1週分は増えている。 ・ 始業式等の儀式的行事については、ほとんどの学校が年6回だったものを4回に減らしている。 ・ 定期テストについては導入以前の調査で年4回だった。学習内容が増えているのに2学期制では難しいという陳情者の意見だが、テストの回数を増やすということは授業時数が減っていくことになる。 ・ 経済格差については学期制の問題ではない。高校無償化によってかなりの子どもが経済的な格差を意識しないで進学ができる状況が生まれている。 ・ 新学習指導要領は旧来型の知識を育むものではなく、知識をどう活用するかという、今まで以上に時間をかけて行う学習内容に変わり、ある程度長いスパンで行う授業形態が求められる。 |

| | |
|-----|---|
| 益田 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校保護者のアンケートでは3学期制がよいという意見が多かったが、2学期制導入当初にはサマースクールや教育相談を丁寧に行っていたものが形骸化していることが考えられるため、教員の意識改革を改めて行い、学校内の活性化が図れるようにしたい。 (事前に送られた意見を事務局が代読) ・学校生活の基本は子どもたちが安心して過ごせること。それは先生や保護者も共通の思いである。来年度から授業時間数が増え、先生方が多忙になることを鑑みれば、3学期制に戻し、学校の負担を増やすことは得策ではない。しかし、保護者アンケートでは、3学期制がよいとの回答が多かったのも事実である。保護者が期待しているのは、長期休業前の評価であると感じているため、教育相談の意義をしっかりと伝えること、中学校では評価時期を統一する、小学校では山王小のように国数のテスト結果を伝える、などの取り組みを行ってほしい。中学校では夏季休業前の仮評価がでること、子どものやる気にもつながると考えている。 ・2学期制で育った子どもたちが保護者になるころには、アンケートの結果も変わるのではないかと。これから何年かかけて3学期制に戻した場合、今の子どもたちが保護者になった頃、また違和感があると思う。それならば、今教育を受けている子どもたちに合わせることを最善であると思うので、それを基本に話を進めてほしい。 |
| 飯田 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局の考え方をうかがう。まとめの表紙について、教育委員会の名義とするのか、懇談会の名義とするのか。資料「学期制検討に関する懇談会」まとめについての意見・提案について、意見・提案をそのまままとめに反映するのか、また9について、全体的に教師目線になりすぎていることについてはどのように修正をしていくのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの表紙については懇談会のまとめとする。 ・意見・提案については事務局としても方向性としては妥当であると考えている。 ・9についても意見として伺い、表現については修正をしていく。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容を受けて、再度資料を作成し、委員に確認を求めるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・3月中を目安に委員に送付し、意見があればうかがう。 |
| 上村 | <ul style="list-style-type: none"> ・9ページのイの最初の意見については表現を見直す必要があるのではないかと。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見をそのまま掲載しているため、調整をする。 |

| | |
|-----|---|
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会に出席していただいて、感想や最後にこれだけとはいうことがあったらお願いしたい。 |
| 石塚 | <ul style="list-style-type: none"> ・2学期制、3学期制、どちらが絶対ということはない。教育の転換期、働き方改革などもあるが、学校について周知されていない部分もあり、しっかりと説明する必要もある。授業時数を確保することも大切だが、子どもと向き合う時間を確保することや各学校の負担にならないようにすることが重要である。 |
| 栗畑 | <ul style="list-style-type: none"> ・陳情者が学校現場を理解していないので、学校や保護者の生の声を聞いていただけなかったのは残念。アンケートの数字だけでなく、中身についてしっかりと説明をすれば教育委員の理解を得られる。 |
| 遠藤 | <ul style="list-style-type: none"> ・結果として目に見えるものがないことに不安を感じている保護者の声を大切にし、長期休暇前の対応を考え、2学期制を継続できるようにしたい。 |
| 初瀬川 | <ul style="list-style-type: none"> ・学期制について考えることができるよい機会になった。また、保護者の意見を知り、まだまだ学校が周知できていないこともわかり、ここから新たに組み込んでいくべきことが明確になった。 |
| 八木 | <ul style="list-style-type: none"> ・3学期制から2学期制への変更も経験しているが、学校現場では3学期制に戻してほしいという意見は教職員と保護者からもこれまでなかった。アンケートの結果は3学期制が多かったが、理由については季節感があるなど説得力を欠くものが多く、2学期制のメリットをしっかりと伝えれば、保護者にも理解していただけると思う。 |
| 中村 | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな方の意見を聞くことができ勉強になった。「子供ありき」という教育長の言葉通り、子どものことを優先に考えるべきだということを再認識した。 |
| 本多 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の考えを知るよい機会になった。年度当初で成績については説明しているが、今回見えてきたことを参考に、保護者の不安を取り除けるような取組をしていきたい。 |
| 上村 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの教育活動を見直すきっかけになった。今後の小田原市の教育に生かされていけばと思う。 |
| 寺内 | <ul style="list-style-type: none"> ・一年間議論を続けてきて、まとめが出来上がったことをうれしく思う。学期制について議論を進めるなかで、時数について、給食やエアコンについてなど、さまざまなことに話が広がっていったことで勉強になった。 |

| | |
|---|---|
| 土谷 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの未来のために時間をつくっていただき感謝している。これまでは漠然と先生は忙しいと思っていたが、この会に参加して、これまで知らなかった状況を知ることができ、本当によかったと思う。保護者代表の立場としても、地域に情報を発信し、みなさんに理解していただきたいと思う。先生方に少しゆとりができ、忙しかった部分を子供たちのために使うことができる、というような形になるとよい。地域の人間としてこれからも力になりたい。 |
| 友部 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんからいただいた意見をもとにきちんと資料を作成し、教育委員に提出したい。会合としては今日が最後だが、資料のやり取りを通して、ご意見頂けたらと思う。 |
| 飯田 | <ul style="list-style-type: none"> ・1月の定例会で教育委員から、多くの保護者が3学期制を支持するなかで判断するのは難しいため、判断をするために必要十分な資料を提供するよう指示を受けている。資料作成については教育指導課中心になるが、協力していきたい。 |
| 川口 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供のためにどちらがいいのかという視点が大切であること、保護者の要望や2学期制に関する説明が不足している点についての対応が必要であると感じた。 |
| 石井 | <ul style="list-style-type: none"> ・ここからは教育委員にどれだけ説明できるかが大切である。子供ありきで考えていただけるよう、しっかり説明してまいりたい。学期制のよさについてどうアピールできるかは事務局で考えていきたい。 |
| 鈴木 | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が様々な工夫をしてよりよい2学期制を実践されていることが分かった。教職員が心のゆとりを持つことが子どものためになる。事実と意見があり、事実は間違えてはいけないので、陳情内容がどこまで事実であるかを踏まえて教育委員に報告しなければならないと思う。 |
| 進行 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年間、各立場でご意見をいただき感謝する。本当に子供にとってよい方法がどちらなのかを教育委員に判断していただけるよう進めていく。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(3) 今後について</div> | |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・まとめについては、本日の意見も加え、加除訂正を行い、3月中に委員に送付し、再度意見をうかがった後、最終的なまとめとする。 ・教育委員会定例会における議決後、報告先へ教育部として報告を行っていく。 |
| 閉会 | |